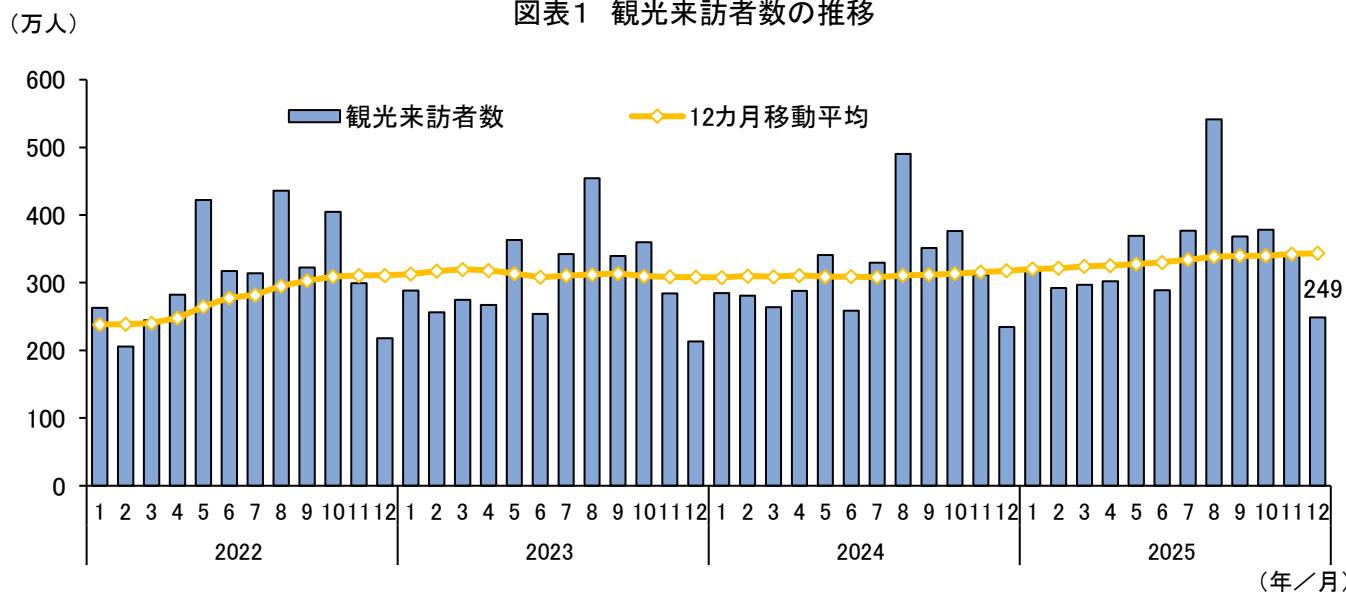


長野県の観光来訪者数の動向 (2025年12月)

(公社)日本観光振興協会が公表したデジタル観光統計オープンデータによると、2025年12月の長野県内への観光来訪者数は248万8,611人、前年同月比+6.0%と17カ月連続で前年を上回った(図表1、2)。市町村別には、観光来訪者が多い順に、軽井沢町が25万8,837人(前年同月比▲2.4%)、長野市が25万3,561人(同+19.3%)、諏訪市が25万496人(同+11.8%)などとなった(図表4、5)。

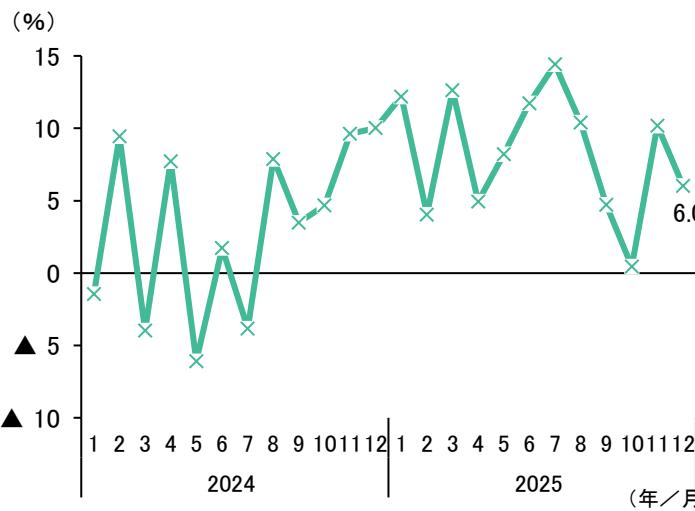
25年の長野県内への観光来訪者数は4,124万7,065人(前年比+8.3%)となり、4,000万人を上回った(図表3)。市町村別には、観光来訪者が多い順に、松本市が460万9,468人(前年比+2.7%)、長野市が453万2,476人(同+9.5%)、軽井沢町が434万4,945人(同+3.6%)などとなった(図表6)。

図表1 観光来訪者数の推移

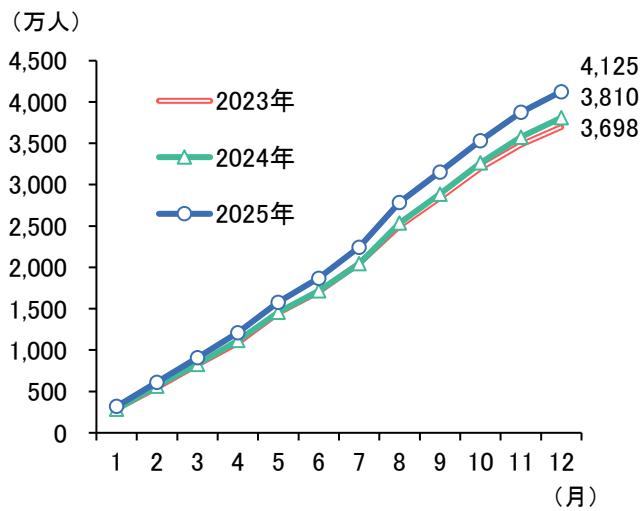


(資料) (公社)日本観光振興協会「デジタル観光統計オープンデータ」。以下の図表も同じ

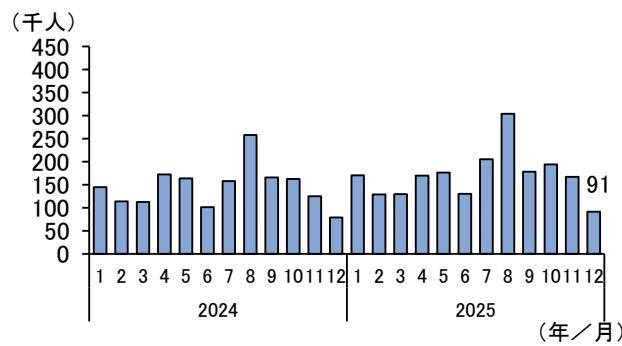
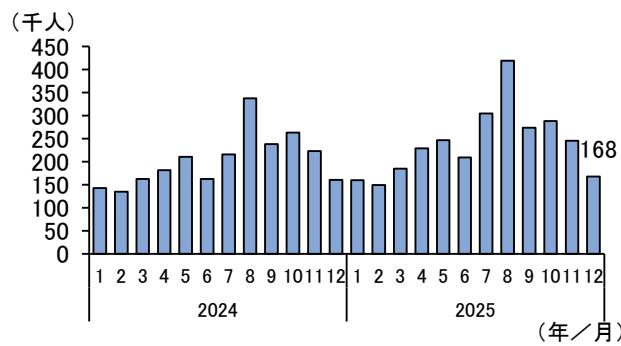
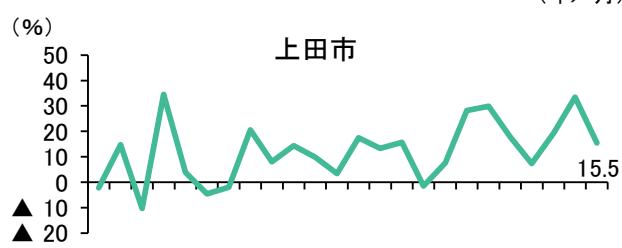
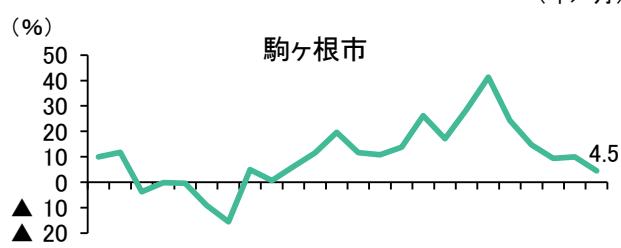
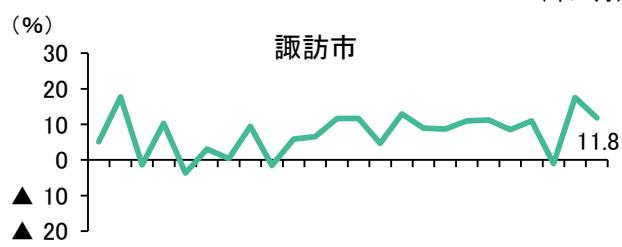
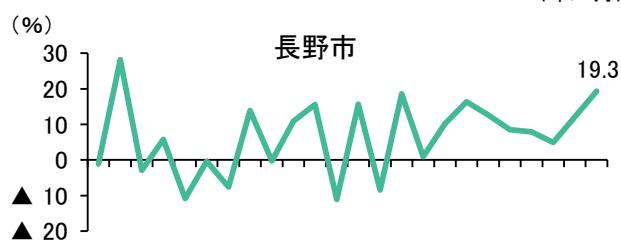
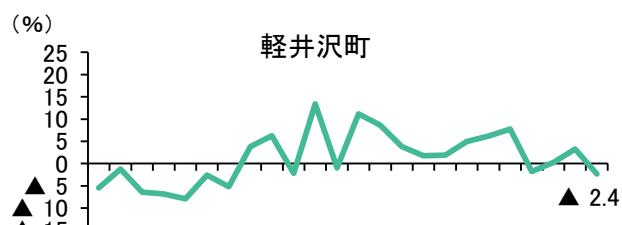
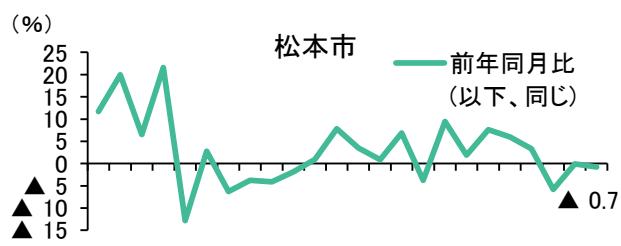
図表2 観光来訪者数の前年同月比



図表3 観光来訪者数の推移(累積)

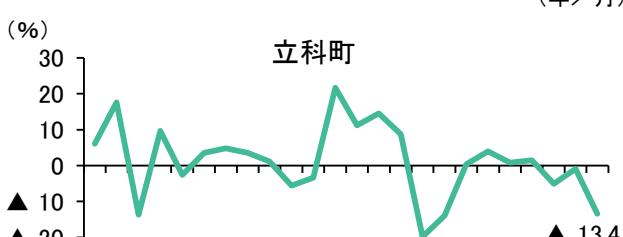
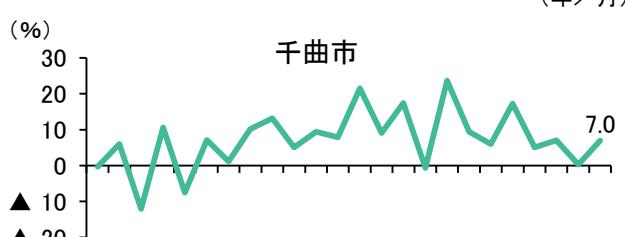
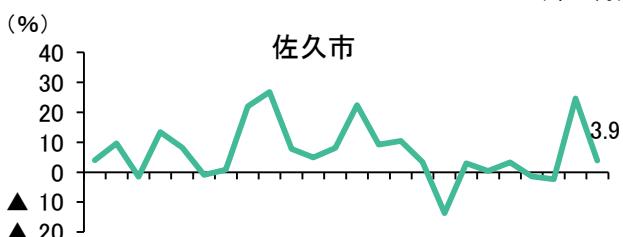
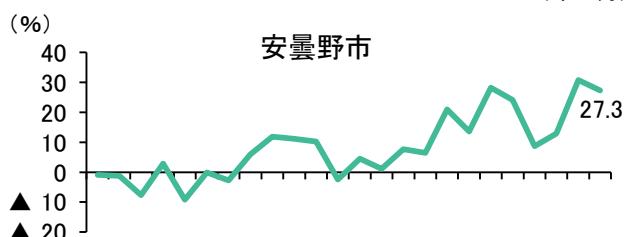
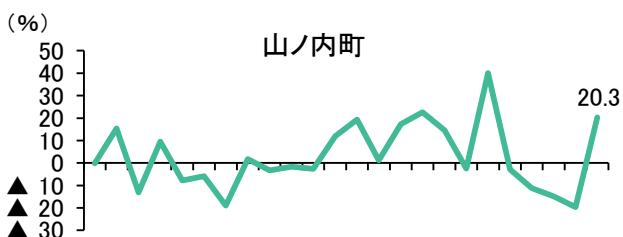
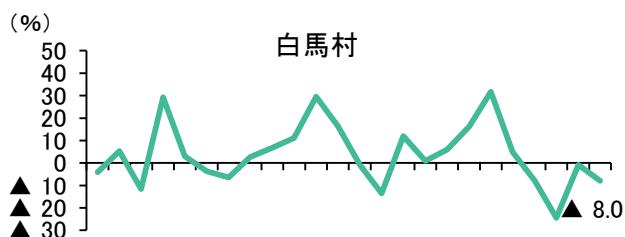


図表4 観光来訪者数の上位自治体_①

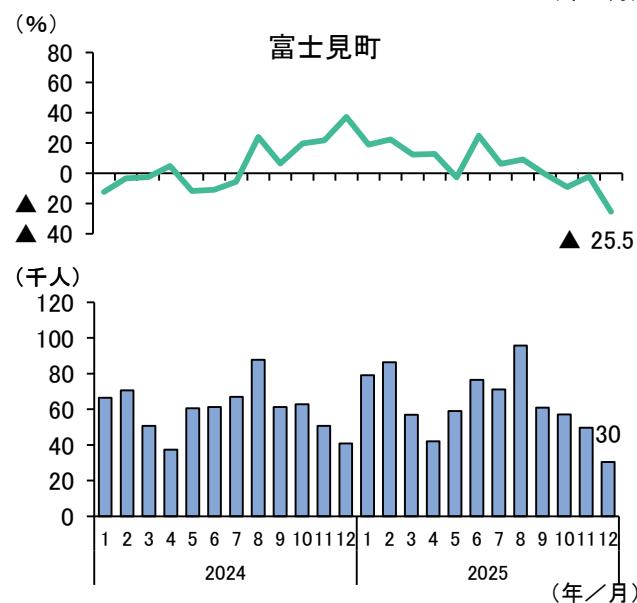
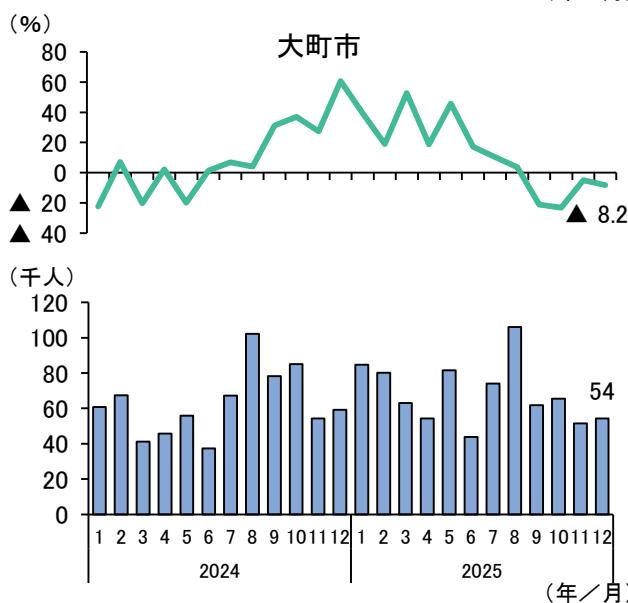
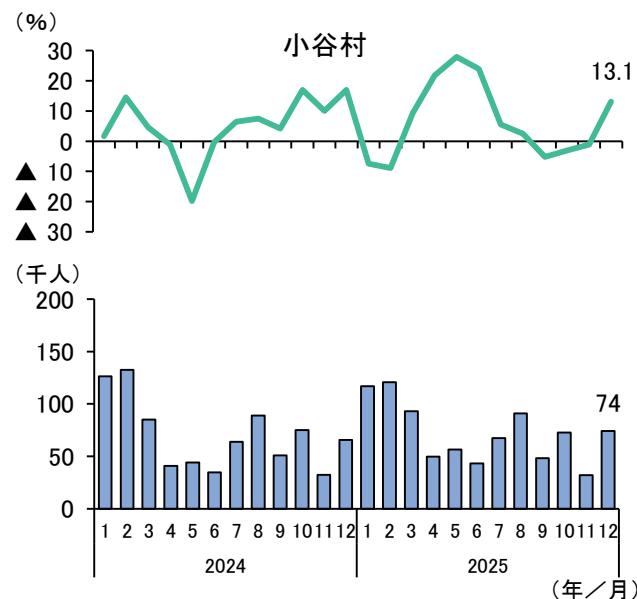
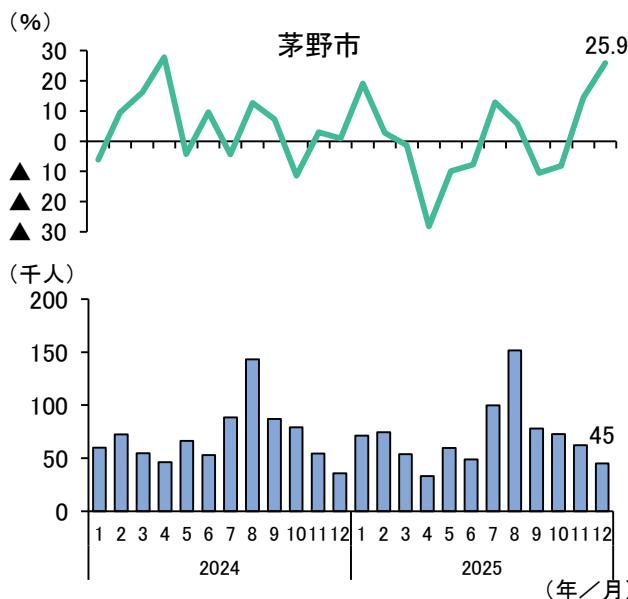
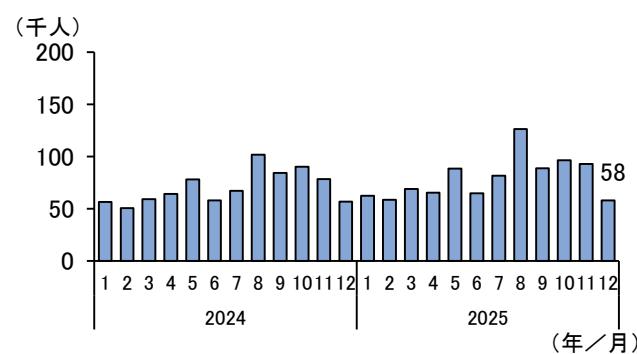
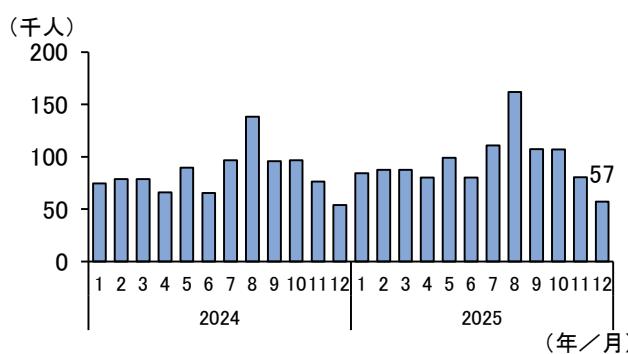
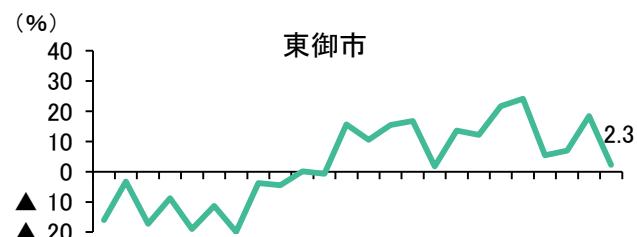
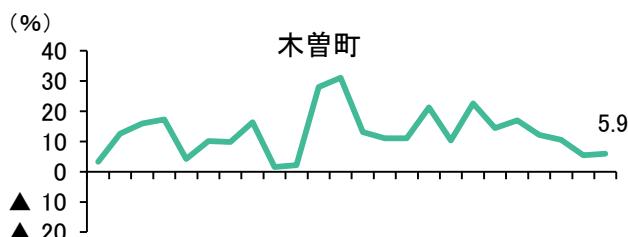


(注) 掲載自治体は、2024年の1年間の来訪者数の多い18市町村順

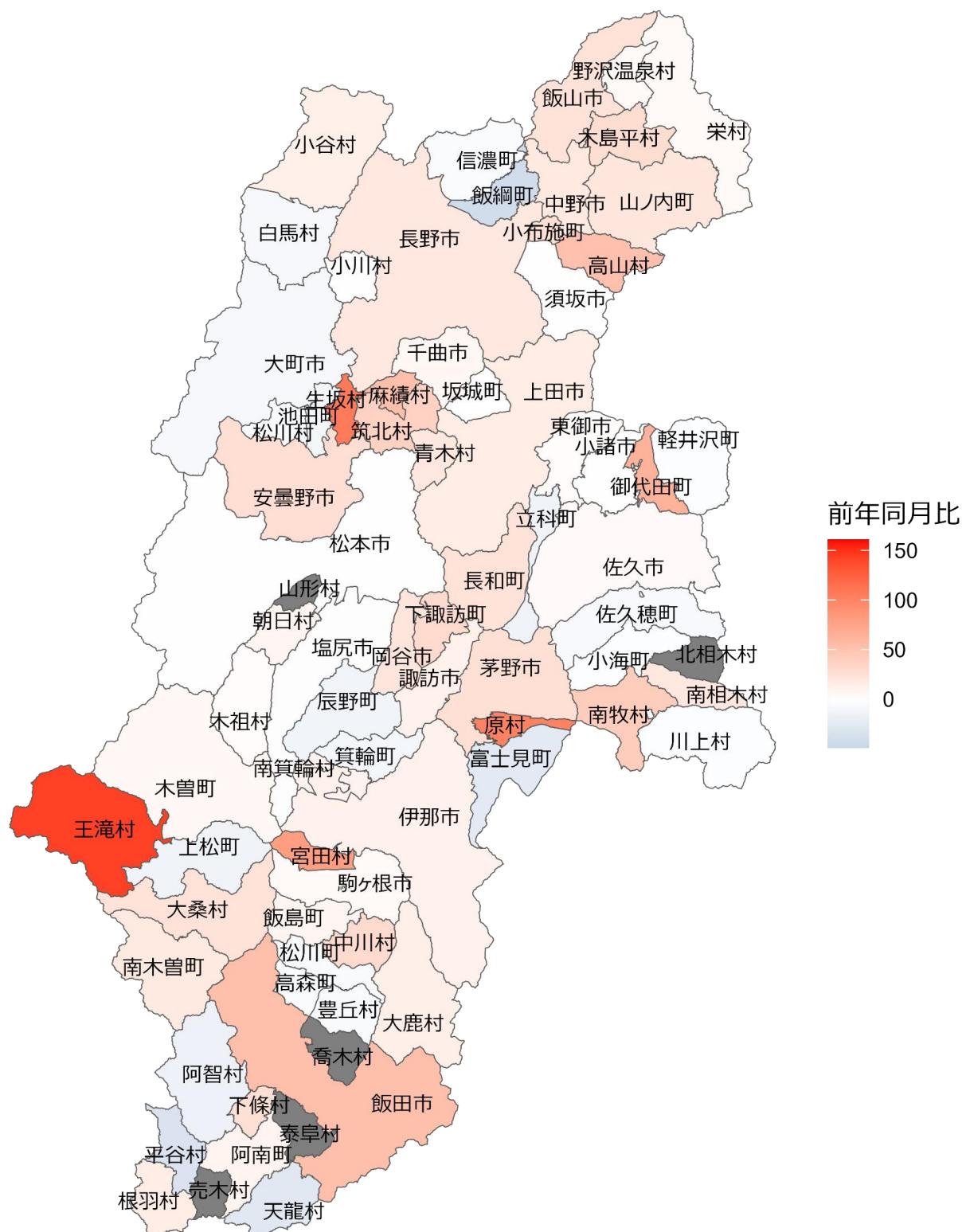
観光来訪者数の上位自治体 ②



観光来訪者数の上位自治体 ③

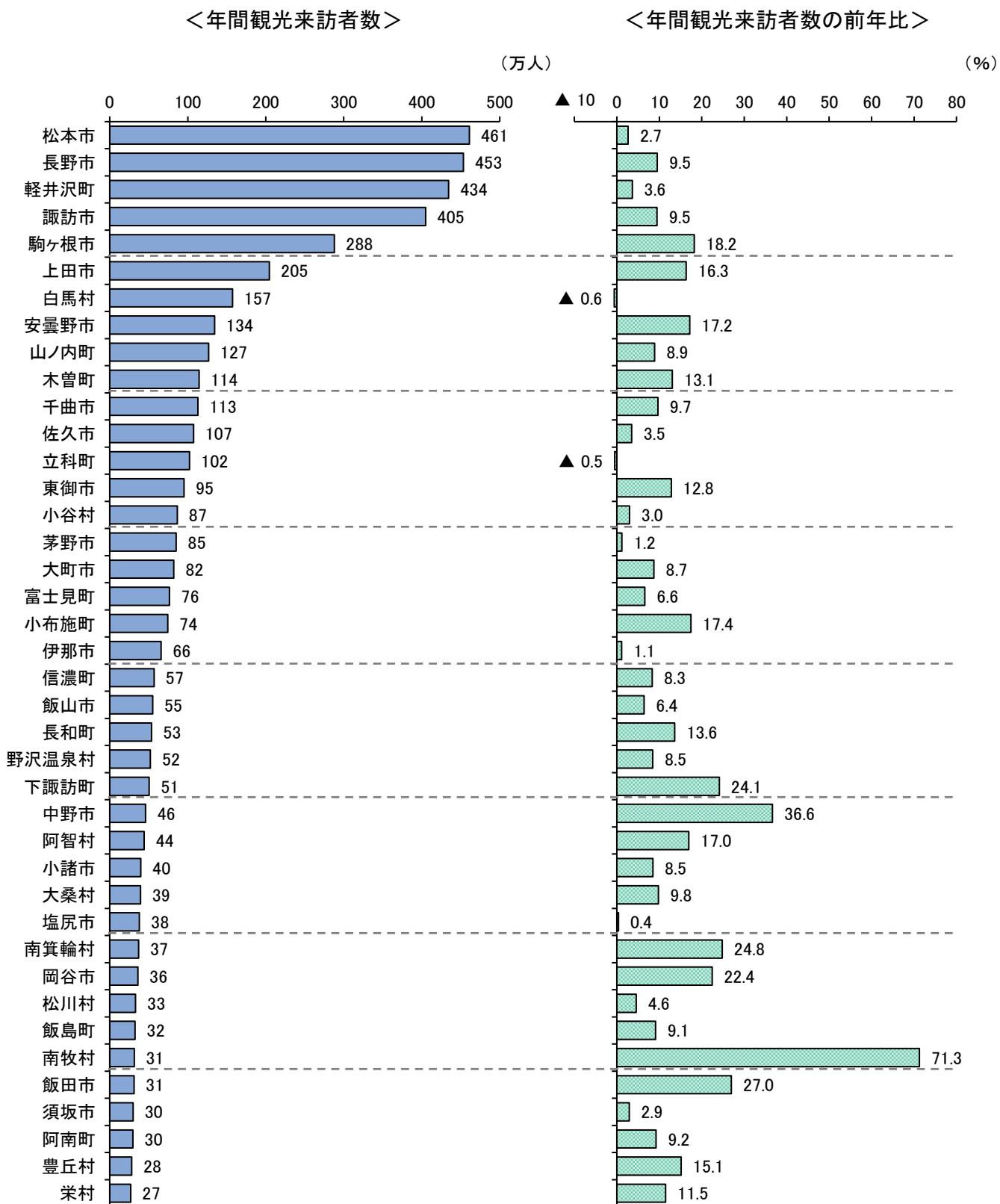


図表5 観光来訪者数の前年同月比(2025年12月)



(注)グレーの塗りつぶし(山形村、北相木村、喬木村、泰阜村、壳木村)は前年同月比が計算できなかった自治体

図表6 2025年の年間観光来訪者数(上位40市町村)



デジタル観光統計オープンデータについて

公表機関	公益社団法人日本観光振興協会
調査対象	日本国内居住者の観光目的と見込まれる入込数(詳細は下記観光来訪者の定義を参照)
調査期間	2021年1月～ 直近1カ月分を毎月更新(毎月中旬に前月分を公表)
公表区分	都道府県別、市町村別
調査方法	ログウォッチャー社が事前に許諾を得て取得したスマートフォンの位置情報データを活用
調査(観光)地点	自然資源、史跡・城跡・城郭、神社・寺院・教会など、各観光地点の施設や敷地形状に合わせて、10m四方のマス目で調査地点の範囲を設定している。 各地点の選定に当たっては都道府県担当者と連携・協力している
観光来訪者の定義	直近2ヶ月間で夜間または昼間に一定以上出現する場所をそれぞれ推定居住地域および推定勤務地域とし、推定居住地域から観光地点までの距離が <u>20km未満</u> の日常生活圏内移動や、観光地点に推定勤務地域が含まれる通勤・通学者の移動は集計対象から除外
推計フロー	設定した各観光地点に滞在した来訪者数を把握した後、住民基本台帳人口に占める割合を基に拡大推計を行う。その上で、都道府県および市区町村単位における日別ユニーク人数を集計し、月ごとに合算している
留意点	①スマートフォンアプリの利用率が低い特定の年齢層(<u>19歳以下や70歳以上</u>)は、観光来訪者数に反映されにくい ②近隣者が多い(商圈の狭い)観光施設は観光来訪者数が過少になる。特に1月(初詣時期)の神社・寺院等への参拝客

詳細は、下記デジタル観光統計オープンデータHPをご覧ください

<https://www.nihon-kankou.or.jp/home/jigyou/research/d-toukei/>